

片頭痛 の 新しい 治療薬



疫学調査によると日本人では840万人の人が片頭痛に悩むといわれています。男女比率では1対3で女性に多いのが特徴です。

月に1~2回ズキンズキンと頭が波打つような激しい痛みで襲われ、吐き気や嘔吐、また光や音過敏などの症状を伴う事もあります。

一旦発作が起きると仕事に支障をきたし、寝込むなど日常生活に大きな支障をもたらします。

片頭痛はどうして起きるの

現在は三叉神経血管説が有力です。何らかの誘引で三叉神経終末から血管作動性の神経ペプチドが放出され血管が拡張し、血管周囲の炎症や、神経が圧迫され頭痛が起こります。体質など遺伝的な要素に不規則な生活や不摂生、ストレスが誘引となって起きることが多いようです。



片頭痛治療の新しい治療薬

軽い場合は生活パターンの改善などで治ることもありますが、重症な片頭痛の場合、薬物治療をお勧めします。平成12年秋に保険適応になって、我が国でも使用できるようになったトリプタン系の新しい片頭痛治療剤(スマトリプタン、ゾルミトリプタン)が第1選択となります。



片頭痛が起きたとき、鎮痛剤を大量に飲まれる方がいますが、効果も十分でなく、胃腸障害をおこしたり、痛みの調節機構を狂わせ片頭痛を悪化したりすることがあるのでお勧めできません。トリプタン系の新しい片頭痛治療薬は、鎮痛剤とは異なり、片頭痛のメカニズムに直接作用し、異常に拡張した頭部血管を収縮し、三叉神経終末に働き頭痛を和らげます。

頭痛が起こったとき、いつでも飲める様、かかりつけ医に処方してもらっておけば、上手に痛みを押さえることができます。ただし、これらの薬は脳動脈と冠血管を収縮するため、心筋梗塞や脳血管障害を起こしたことがある人、狭心症などの虚血性心疾患の人などには使えません。又すでにジヒデルゴット、カフェルゴットなどのエルゴタミン製剤を服用してしまった人では、服用後24時間あけてからでなければ飲んではいけないなど注意が必要です。

詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

